

# 授業 1 本時の視点について

以下の授業概略に示された「視点1」、「視点2」の内容は、本学級生徒において適切であったか。

社会科授業 1年2組 授業者 早乙女 武之

## ●単元名

3章 世界の諸地域

4節 北アメリカ州「世界をリードする大規模な産業」（「中学生の地理」帝国書院）

## ●本時のねらい

アメリカ合衆国が世界の農産物の輸出量において大きな割合を占める理由を、気候・生産方法・経営方法（企業）のいずれかの視点で説明することができる。

## ●本時で、伸ばしたい資質・能力

- ・文章に表したり、相手に説明したりする力
- ・複数の資料を関連付けて読み取ることができる力

## 視点 1

### 本校が目指す「思考力・判断力・表現力を育む授業」3つの重点

## 視点 2

#### 1 生徒の学習意欲を高めるめあての提示

##### 教師の仕掛け

- 小麦、大豆、とうもろこしの世界の国別輸出量のグラフを国名をふせて一つ一つ提示する。そして、クイズ形式で世界の輸出国第1位を予想させる。
- 輸出量世界1位であるアメリカ合衆国の農産物を実物提示する。

##### 引き出したい生徒の反応

「なぜ、アメリカは農産物の輸出量が多いのだろうか。」「アメリカはすごい。他の国と何がちがうのだろうか。」と今後の展開である課題解決に向けて意欲が湧き、活動が活発になる。

本時のめあて：

アメリカ合衆国が世界の農産物の輸出量において大きな割合を占める理由を説明できるようにする。

#### 2 生徒が自ら考え、判断し、表現し、課題を解決する授業形態

##### 教師の仕掛け

- 調べる活動において、複数の資料を比較させ、その中から自分が理由を説明するのに適している資料を選択させて、自分の考えを書かせる。さらに、その考えをグループ内で発表し、自分の考えも含めて一番よい考えの一つを選び、その理由を考える。

##### 引き出したい生徒の反応

自分とは違う考えに触れ「なるほど。」「そういう考えもあるのか。」という心情をもち、多面的・多角的な思考を生み出す。そして、様々な資料を適切に選択し、公正に判断し適切に表現する能力や態度が育成される。

#### 3 本時の学習内容を定着させ、自己肯定感を育む振り返り活動

##### 教師の仕掛け

- まとめの活動では、板書で本時の授業を振り返らせ、自分の考えを自分の言葉でまとめさせることで、本時のめあてを達成した自己の成長を自分で実感できるようにする。

##### 引き出したい生徒の反応

「わかった。」「できた。」といった心情をもち、自己肯定感が高まるとともに、学習内容が定着し、「さらに深めたい。」といった心情を生み出す。

# 授業 2 本時の視点について

以下の授業概略に示された「視点1」、「視点2」の内容は、本学級生徒において適切であったか。

数学科授業 2年5組 授業者 佐藤 圭

## ● 単元名

平行と合同

## ● 本時のねらい

多角形の内角の和の求め方について、三角形の内角の和に帰着して説明することができる。

## ● 本時で、伸ばしたい資質・能力

- ・ 帰納や類推を用いて図形の性質を推論する考え方
- ・ すでに説明できた図形の性質を用いて説明する演繹的な考え方

## 視点 1

## 本校が目指す「思考力・判断力・表現力を育む授業」3つの重点

## 視点 2

### 1 生徒の学習意欲を高めるめあての提示

#### 教師の仕掛け

- 三角形の内角の和を根拠にし、四角形の内角の和を求める方法をいくつか紹介する。
- 他の多角形の内角の和も同じようにして調べられないかと問いかけることで、本時の学習課題を明確にする。

#### 引き出したい生徒の反応

対角線や補助線を用いて多角形を分ける方法を理解し、他の多角形の内角の和の求め方にも見通しを持つ。また、いくつかの方法があることに興味を持ち、「自分も考えてみたい。」という意欲を持つ。

本時のめあて：多角形の内角の和の求め方について説明できるようにしよう。

### 2 生徒が自ら考え、判断し、表現し、課題を解決する授業形態

#### 教師の仕掛け

- グループごとに異なる多角形（五～七角形）を与える。
- 個別追究の後に、「オススメの内角の和の求め方」をグループで考えさせる。
- 各グループで見いだした求め方について、分けられた三角形の個数に着目しながら全体で比較・検討する。そして、その結果をもとにして、教師が  $n$  を用いた内角の和の求め方を提示する。

#### 引き出したい生徒の反応

- 他グループと異なる多角形を任されたことで、課題に対するやりがいが高まる。
- より簡潔な求め方や、自分なりに見いだした求め方を改善したり、発展させたりしようとする。
- 「自分たちの考えが役に立った」「みんなの考えをあわせて、新たな考えが分かった。」などの心情を持ち、すでに説明できた図形の性質を用いて説明する演繹的な考え方を持つ。

### 3 本時の学習内容を定着させ、自己肯定感を育む振り返り活動

#### 教師の仕掛け

- 内角の和について、図を用いずに求める活用問題を行い、多角形の内角の和の求め方の定着を図る。
- ペア学習を行い、多角形の内角の和とその求め方について、お互いに説明し合うように促す。
- 発展課題を用意する。

#### 引き出したい生徒の反応

- 「導き出した求め方が役に立った。」「求め方が使えた。」「自分で説明できた。」という心情を持ち、学習内容が定着し、自己肯定感が高まる。
- 「もっと試してみたい。」「発展課題にも挑戦してみよう。」という心情を持つ。

# 本時の視点について

以下の授業概略に示された「視点1」、「視点2」の内容は、本学級生徒において適切であったか。

科授業 年 組 授業者

● 単元名

● 本時のねらい

● 本時で、伸ばしたい資質・能力

視点1

## 本校が目指す「思考力・判断力・表現力を育む授業」3つの重点

視点2

### 1 生徒の学習意欲を高めるめあての提示

教師の仕掛け

引き出したい生徒の反応

本時のめあて：

### 2 生徒が自ら考え、判断し、表現し、課題を解決する授業形態

教師の仕掛け

引き出したい生徒の反応

### 3 本時の学習内容を定着させ、自己肯定感を育む振り返り活動

教師の仕掛け

引き出したい生徒の反応